

日本農芸化学会 関東支部 2024 年度若手発案企画 第8回天然物化学研究会 -多様化する天然物化学のアプローチ-

(世話人: 藤巻貴宏)

令和6年11月22日

2024年度の日本農芸化学会関東支部若手発案企画として天然物化学研究会を東京農業大学世田谷キャンパスにて開催いたしました。本研究会は天然物化学に関連する若手研究者による講演会であり、1時間の講演時間を設け分厚い研究内容をご紹介いただける大変貴重な機会を提供するものとなっています。今回は93名が参加し、「多様化する天然物化学のアプローチ」というテーマに関して3名の先生方に天然有機化合物の探索、合成、生合成やケミカルバイオロジーなど幅広い分野に渡るご講演をいただきました。筑波大学の大好先生からは、海洋産天然物の探索から構造決定に関する不思議な現象や、複雑な天然物の合成への挑戦、さらにケミカルバイオロジーへの展開について講演していただきました。佐藤先生からは、糸状菌が生産する天然物のユニークな生合成機構について分子生物学的視点も交えて講演していただきました。宮崎先生からは植物ホルモンとして有名なジベレリンがコケ植物においても働いていることや、植物とはその構造や代謝が異なる部分などについて講演していただきました。質疑応答においても活発な議論が交わされ、次々に新しい技術や方法論が開発されていく現代において、本分野がまだまだ注目すべき分野であることを知る良い機会となりました。これからの本分野を担っていく若手研究者の熱い思いが全ての参加者に伝わり、成功裏に本会を開催できたものと思います。

プログラム

時間	タイトル	講演者
13:00	開会の辞	藤巻貴宏(東京農業大学)
13:05	有機合成化学者による天然物化学研究	大好孝幸(筑波大学)
14:10	カビがつくる天然物の骨格形成機構	佐藤道大(静岡県立大学)
15:10	コーヒーブレイク	
15:30	植物の生活環制御に関わるテルペノイドの生合成研究	宮崎翔(東京電機大学)
17:00	研究交流会	

(裏面につづく)

JSBBA KANTO

開会の辞



大好孝幸先生のご講演



佐藤道大先生のご講演



宮崎翔先生のご講演



講演者の先生方と世話人



聴衆の多くは大学院生であり質問にも積極的に挑むなど、若い研究者同士が互いに切磋琢磨できる環境は益々重要性が高まることと思います。本会が参加者のモチベーションアップに繋がってくれば幸いです。

末筆ながら、まず講演していただいた3名の先生方、参加者の方々、農芸化学会関東支部をはじめご支援を賜りました方々、会の運営にご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。